

本時のねらい

感染症・性感染症・エイズ等について、それぞれの影響や効果的な予防方法について理解する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・感染症・性感染症・エイズ等の影響や効果的な予防方法について、スライドを作成し、全体発表の練習を行うことにより、生徒が主体的に内容について理解する。

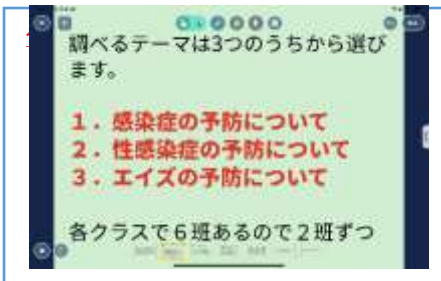
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ Google スライド
- ・ Google スプレッドシート
- ・ ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあて「相手に伝わる Google スライドを作成することにより感染症等についての理解を深める」と流れ「①スライドの作成②発表の練習③スライドの改善」を確認する。【写真1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで事前に資料を配付することで視覚的にめあてや学習内容を把握させ、本時の学習への動機づけを行う。</li> <li>・各班が作成する資料を参考にしてもよいことを説明する。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症・性感染症・エイズ等の影響や効果的な予防方法についてのスライドを作成する。</li> <li>・班のメンバーで役割分担をしてスライドを作成する。</li> <li>・自分の担当分野について調べ、一人一枚程度の発表用スライドにまとめる。【写真2】</li> <li>・班の中で発表練習をする。【写真3】</li> <li>・発表練習を通して改善点を修正する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やインターネットの検索機能を活用し、担当分野の内容や予防方法についての情報収集を行う。</li> <li>・調べた内容を Google スライドにまとめる。</li> <li>・インターネットの情報をそのまま利用するのではなく、自分の言葉で表現するとともに、他の人にわかりやすく伝えるために、スライドに文字を詰めすぎないようにすることやアニメーションを利用するなどの工夫をさせる。</li> <li>・時間やスライドの見やすさ、クリックのタイミングなどを確認する。</li> <li>・発表の際はスライドのノートの機能を使ってもよいことを伝える。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業時に発表することを伝える。</li> <li>・振り返りを発表する。</li> <li>「発表練習をすることで本番をイメージすることができたので、スライドの情報量を減らし、話す箇所のポイントを絞ることができた。」などの振り返りが出された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて家庭学習でスライドの編集をしてもよいことを伝える。</li> </ul>

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】ロイロノートで配付したカード



【写真2】スライドを作成している様子



【写真3】班内で発表練習をしている様子

児童生徒の反応や変容

・発表に向けてわかりやすく資料をまとめたり、情報を多くすぎないことを意識して Google スライドを作成することにより、内容についての理解が深まっていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・Google スライドを活用することで、班のメンバーが同時に編集することができるのと同時に他の班の作成している様子なども参考にすることができるため、「今、何をしたらいいのかが生徒にとってわかりやすい。」